



祝祭日には



を掲げましょう

いまこそ集落創生

第10回 蒲沢地区



▲一ノ倉から約2kmにわたり縦長に住宅が続く集落を形成している蒲沢地区。東側には台山及びそれに連なる神室山系が雄大にそびえる。青空に映える降雪直前の山々の稜線が美しい

町中心部から東へ約5km、約25世帯、70名ほどが暮らす蒲沢地区。金山地域では最も東部に位置し、台山に源を発する上台川の最上流にある地区です。

周りを山に囲まれている蒲沢地区。その中でも南側にそびえる太平山は、別名を三吉様といい、地区をあたたく見守ってくれています。旧暦の4月8日には「太平山まつり」を開催。この日は山頂に祀られている山の神が、田の神に代わる日とされ、豊作を願う地区の男性が山頂の社殿を参拝するのが習わしとなっています。また、台山山麓の蒲沢では、流れ出る水を活用した水稻農業が主な生業。しかし、開田できる平地も限られていたことから、山にも生活の糧を求めました。山菜などから自然の恩恵を受けることはもちろん、木材資源を活用した「炭焼き」が一番大きな収入に。昔ながらの製法で作られる炭は、海外製などと比べて持ちがよいと評判で、今でも地区には炭焼き産業が残っています。

「花植えや草刈りなど、みんなで協力して環境美化にも力を入れている」と青柳英雄区長は話します。県のマインロードサポート事業を活用し10年を迎えた昨年11月には、長年の道路美化活動が認められ「県土づくり感謝状」を受賞しました。吉村県知事から表彰状を贈呈された青柳区長は「活動の励みになる。地区の皆さんも喜んで」と笑顔で語っていました。

蒲沢地区は町内において比較的人口が少なく、小規模な地区。青柳区長は「小さいからこそできることもある。地区の絆を大切に、仲良く運営していきたい」と話します。これからも蒲沢らしい地区活動が展開されていくことでしょう。

金山町の人口は、5,554人 (11月末現在)

男性 2,703人 (+1)
女性 2,851人 (-4)
世帯数 1,762世帯

▼11月の異動
出生 4人
死亡 7人
転入 14人
転出 14人

編集 幸記

▼新年あけましておめでとうございます。皆様どのようなお正月を過ごされましたか？

▼我が家には、元旦の朝にカブを入れた雑煮餅を食べる風習があります。カブは正直いうと苦手。でもこれだけは大好物なんです。「カブがあがるように」との願掛けのようですが、元旦はこれを食べるために毎年早起きしています。
▼2019年は多幸。わかりやすく伝える広報を目指し、今年も猪突猛進します。ご愛読のほど、よろしく願います。(中村)